

コンクリート面及び押出成形セメント板面

7章10節: 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ハイライト#800 (標準仕様)

公共仕様No.
DNT-改修・10-3-04

使用材料一覧表

| 規格 一般名称 | 商品名 | ホルムアルデヒド 放散等級 | 希釈剤 |
|--------------------------------|----------------|------------------|-----|
| 1 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー | 水性マイティーシーラーマルチ | F☆☆☆☆ | — |
| 2 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント | ハイライト#800 | F☆☆☆☆ | 水道水 |

塗装仕様

表7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整【RB種】

| 工程 | 塗料その他 | | | 面の処理 |
|------------|---------------|-------------------------------|----------|--------------------------------------|
| | 規格番号 | 規格名称 | 種類 | |
| 1 既存塗膜の除去 | — | | | ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化しづらい弱な部分を除去する。 |
| 2 汚れ、付着物除去 | — | | | 素地を傷付けないようにワイヤブラシ等により、除去する。 |
| 3 ひび割れ部の補修 | — | | | 特記による。 |
| 4 下地調整塗り | JIS A 6916 | 建築用下地調整塗材 | C-1又はC-2 | 既存の塗膜の除去部分の不陸を調整する。 |
| | JIS K 5669 | 合成樹脂エマルジョンパテ | 耐水形 | |
| 5 吸込止め | JASS 18 M-201 | 反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー | — | 全面に塗り付ける。 |

- (注) 1. 押出成形セメント板面の場合は、工程4を省略する。
 2. 工程5のシーラーは、上塗り塗料製造所の指定するものとする。
 3. 新規に塗装を行う場合は、RA種(ただし、新規材料面に耐候性塗料塗り以外の塗装を行う場合はRB種)とし、工程11に代えて素地を十分に乾燥させて、工程3を省略する。
 4. JASS 18 M-201は、日本建築学会材料規格である。
 5. 屋内で現場塗装する場合、工程5の吸込止めのパテしごきを使用する材料は、上塗り塗料製造所の指定する水性塗料とする。

表7.10.1 合成樹脂エマルジョンペイント塗り【B種】

| 工程 | 商品名 | 色相 | 混合比率 (重量比) | 希釈率(%) (重量比) | 塗装方法 | 塗付け量 (kg/m ² /回) | 塗装間隔 (20℃) |
|-------|----------------|------------|---------------|-----------------|------|--------------------------------|----------------|
| 1 下塗り | 水性マイティーシーラーマルチ | 透明なブルークリヤー | — | 無希釈 | 刷毛 | 0.07 | 2時間以上 1ヶ月以内 |
| | | | | | ローラー | | |
| 2 中塗り | ハイライト#800 | 各色 | — | 5~10 | 刷毛 | 0.10 | 2時間以上 |
| | | | | | ローラー | | |
| 3 上塗り | ハイライト#800 | 各色 | — | 5~10 | 刷毛 | 0.10 | — |
| | | | | | ローラー | | |
| | | | | 5~15 | スプレー | | |
| | | | | | スプレー | | |

- (注) 1. 新規に塗る場合は、A種又はB種とする。
 2. 押出成形セメント板面の下地調整は、表7.2.6によるRB種又はRC種とする。

7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整
 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整は表7.2.6による。ただし、種別は、塗り工法に応じた節の規定による。

7.10.2 コンクリート面及び押出成形セメント板面合成樹脂エマルジョンペイント塗り
 (a) 合成樹脂エマルジョンペイント塗りは表7.10.1により、種別は特記による。特記がなければB種とする。
 なお、天井面等の見上げ部分は、工程3を省略する。
 (b) 塗替えの場合のしみ止めは、7.9.2(b)による。

注意事項

- * 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
- * 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。